

2016年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期決算説明会

2015年12月3日

- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資 本 金	2,310,056,000円
代 表 者	代表取締役社長 田中 秀明
従業員数	198名 (2015年 9月30日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「めりめりガラコ」



1995年
「99工房シリーズ」



1999年
「フクピカwet」






2006年
「メガネのシャンプー」



関係会社一覧



社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の 所有割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪市中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪市中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	役員の兼任
(株)ソフト99オートサービス 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都江東区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸
アライズ(株) 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)オレンジ・ジャパン 	東京都江東区	30百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任

事業セグメントの概要



ファインケミカル	カー用品（一般用・業務用）	 (株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	 上海速特九九化工有限公司
	TPMS企画・開発・販売	 (株)オレンジ・ジャパン
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	オートサービス事業	 (株)ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
	生活用品企画販売事業	 (株)くらし企画
不動産関連	不動産賃貸事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	温浴事業	
	介護予防支援事業	 アライズ(株)

Ⅱ：連結業績の概要

ファインケミカル（販売トピックス①）

一般用カー用品：売上高 3,907百万円（前年対比 +38百万円）

- 自動車ボディお手入れ製品で苦戦。（△17）
 - ▶ 洗車用品は好調であったものの、ボディコーティング剤は苦戦し、わずかに前年を下回る。『スムーズエッグマイクロホイップ』は得意先との取り組み強化を継続中。
- 自動車ガラスお手入れ製品が好調。（+119）
 - ▶ ガラコシリーズ新製品の投入、ワイパーの新規得意先への導入が進み、前年を上回る。
- 新しい売り場提案・新分野への挑戦
 - ▶ 既存製品『ヘッドライトクリーナー・ライトワン』を、新しい店頭訴求方法で販売拡大
 - ▶ フクピカシリーズのパッケージをリニューアルし、新規チャネルへ販売



フクピカ12枚 4.0



めりめりガラコハヤデキ



「スムーズエッグ」拡販キャンペーン



「ライトワン」実車POP展開

ファインケミカル（販売トピックス②）

業務用カー用品：売上高 647百万円（前年対比 +76百万円）

- 自社ブランド業務用コーティング剤「G'zox」は堅調。
- 自動車メーカー向けOEMは受注が増加し、前年を上回る。
- その他新規開発事業等は苦戦。
 - 自動販売機、電車へのコーティングなど
自動車以外の分野にも継続して展開中。



業務用コーティング剤
「G'zox NEWリアルガラスコート」



鉄道車両向けコーティング

家庭用品等：売上高 230百万円（前年対比△10百万円）

- 主力商品であるメガネのシャンプーの企画採用とリピート受注が進み販売増加。
- 前年に発生したパッケージリニューアルに伴う返品の影響も解消し、メガネケア関連販売で前年を上回る。
- 前年は多くのOEM新規導入があったが、今年の前年を下回る結果となった。



メガネのシャンプー除菌EX



メガネの曇り止め濃密ジェル

ファインケミカル（販売トピックス③）

海外事業：売上高 532百万円（前年対比 △122百万円）

■ アジア

- 中国 輸出は高単価製品の販売増加。
現地生産品はインターネット個人向け販売が好調。
- 東アジア 現地語パッケージのガラスケア製品が好調。
- 東南アジア タイ・インドネシア向けの販売が苦戦。



韓国向け
ガラコシリーズ

■ ロシア

- 売上は前年を下回ったものの、粗利率の低い他社仕入製品の
下落率が高かったため、トータルの利益率は改善。

■ 欧米・その他地域

- ドイツで業務用コーティング剤「G'zox」納入開始。



ドイツにおけるG'zox施工店

TPMS企画販売：売上高52百万円（新規）

- 運送会社向けトラック・バス用TPMS販売が伸長。



トラック・バス向けTPMS「HT430」

ファイネケミカル (損益：対前年同期比較)

■粗利率の高い業務用製品の販売増加、および海外向け製品の粗利改善により増益。

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	5,306	5,365	+59	+1.1%
(一般用：ボデーケア)	(1,040)	(1,022)	(▲17)	(▲1.7%)
(一般用：ガラスケア)	(1,608)	(1,727)	(+119)	(+7.4%)
(一般用：リペアグッズ)	(1,220)	(1,157)	(▲63)	(▲5.2%)
(業務用)	(570)	(647)	(+76)	(+13.5%)
(家庭用品等)	(241)	(230)	(▲10)	(▲4.3%)
(海外事業)	(655)	(532)	(▲122)	(▲18.7%)
(TPMS)	(-)	(52)	(+52)	-
(その他 ※)	(△29)	(△5)	(+24)	-
売上総利益	2,408	2,533	+124	+5.2%
粗利益率 (%)	45.4%	47.2%	(+1.8%)	-
営業利益	400	601	+200	+49.9%
営業利益率 (%)	7.6%	11.2%	(+3.6%)	-

ポーラスマテリアル（販売トピックス①）

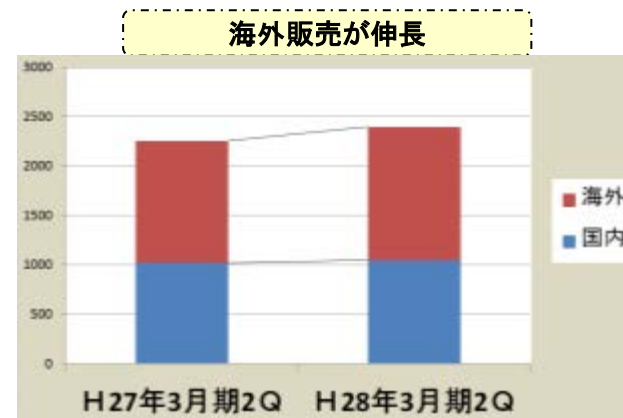
産業資材部門：売上高 1,742百万円（前年対比 +106百万円）

■ 国内販売（+7）

- ▶半導体向け製品…得意先在庫調整が終わり、好調に推移。
- ▶医療用製品……インフルエンザ検査薬吸液パッドのリピート受注増加。

■ 海外販売（+99）

- ▶半導体向け製品…台湾、アメリカ向けの出荷が好調に推移。
- ▶HDD向け製品 ……研磨は好調であったが洗浄においては在庫調整が続き前年を下回る。



地域別売上高の前年比較
(単位：百万円)



搬送・吸水用ローラー



精密洗浄用ブラシローラー



精密研磨用砥石

ポーラスマテリアル（販売トピックス②）



生活資材部門：売上高 637百万円（前年対比 +38百万円）

■ 国内（+36）

- 『家庭用超吸水スポンジ』の受注が増加。
- OEMにおいては自動車向け新規採用、スポーツ関連製品の供給増加により前年を上回る。

■ 海外（+2）

- アメリカ・インドネシア向けに『プラスセーヌ』の販売が増加し、前年を上回る。



家庭用超吸水スポンジ



コーティング施行車に対応した洗車用品



主力製品
「プラスセーヌ」

ポーラスマテリアル (損益：対前年同期比較)



■国内・海外共に販売が伸長。さらに工場の稼働率向上により増収増益となる。

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,235	2,380	+144	+6.5%
(産業資材)	(1,636)	(1,742)	(+106)	(+6.5%)
(国内)	(850)	(857)	(+7)	(+0.8%)
(海外)	(786)	(885)	(+99)	(+12.6%)
(生活資材)	(599)	(637)	(+38)	(+6.3%)
(国内)	(264)	(300)	(+36)	(+13.6%)
(海外)	(335)	(337)	(+2)	(+0.6%)
売上総利益	670	741	+70	+10.6%
粗利益率 (%)	30.0%	31.1%	+1.2%	-
営業利益	246	303	+57	+23.4%
営業利益率 (%)	11.0%	12.8%	+1.7%	-

サービス（販売トピックス）

オートサービス事業：売上高 1,189百万円（前年対比 +23百万円）

- 保険料率改定で市場の伸長が望みにくい中において、積極的な営業活動によりモーターチャネル（保険代理店を兼ねる整備会社）からの入庫が増加。
- さらに単価の高い輸入車ディーラーからの入庫も増加し、前年を上回る。

自動車教習事業：売上高 417百万円（前年対比 +1百万円）

- 時間単価の高い大型車教習の入所者が増加し、前年を上回る。

生活用品企画販売事業：売上高 888百万円（前年対比 +93百万円）

- 主力得意先の生協において、ヒット商品に恵まれ企画採用数が増加し、前年を上回る。
- インターネット販売についても自社サイト『ココ笑店』の販売が伸長。



オートサービス事業（钣金塗装）



自動車教習事業（尼崎ドライブスクール）



生活用品企画販売事業（ココ笑店）

サービス (損益：対前年同期比較)

■ 各事業ともに販売が堅調。さらに効率的な運営に努めたことにより、増収増益となる。

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,375	2,494	+119	+5.0%
(オートサービス)	(1,165)	(1,189)	+23	+2.0%
(自動車教習所)	(415)	(417)	+1	+0.5%
(生活用品企画販売)	(794)	(888)	+93	+11.8%
売上総利益	468	535	+67	+14.3%
粗利益率 (%)	19.7%	21.5%	+1.8%	-
営業利益	9	58	+49	+544.5%
営業利益率 (%)	0.4%	2.4%	+2.0%	-

不動産関連（販売トピックス）

温浴事業：売上高 546百万円（前年対比 +7百万円）

- 設備改修による休館日が影響し来場者数は減少したものの、飲食メニューの充実により客単価が上昇。前年を上回る。

不動産賃貸事業：売上高 175百万円（前年対比 +1百万円）

- 保有物件の稼働率が向上し、前年を上回る。

介護予防支援事業：売上高 8百万円（前年実績なし）

- 平成26年11月より営業開始。順次利用者を増やし、収益基盤の安定を目指す。



不動産賃貸事業（旧東京支店）



温浴事業（極楽湯 東大阪店）



介護予防支援事業（ポシブル尼崎）

不動産関連（損益：対前年同期比較）

■温浴事業における客単価アップによる売上増加により、増収増益となった。

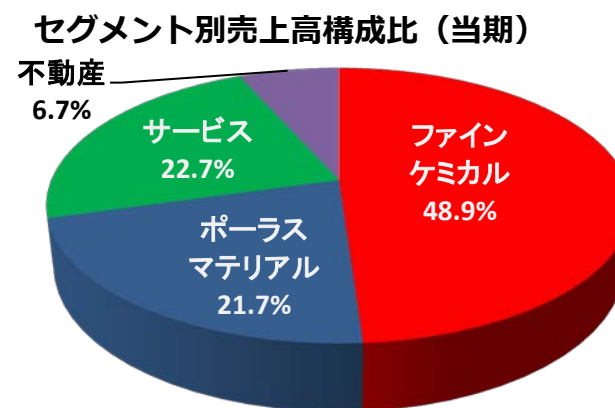
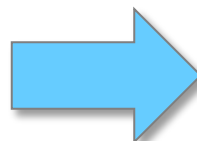
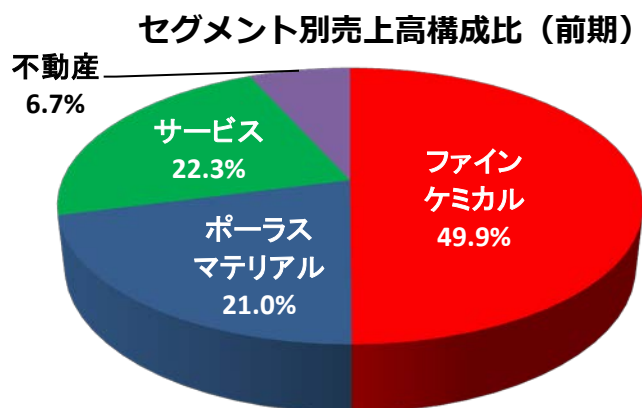
（単位：百万円）

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	712	730	+17	+2.5%
(温浴事業)	(538)	(546)	(+7)	+1.3%
(不動産賃貸)	(173)	(175)	(+1)	+1.1%
(介護予防支援事業)	(-)	(8)	(+8)	-
売上総利益	130	145	+15	+11.7%
粗利益率(%)	18.3%	19.9%	1.6%	-
営業利益	107	127	+20	+19.2%
営業利益率(%)	15.1%	17.5%	+2.4%	-

セグメント情報 (セグメント別売上高比較)

(単位：百万円)

売 上 高	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	5,306	5,365	+59	+1.1%
ポーラスマテリアル	2,235	2,380	+144	+6.5%
サ ー ビ ス	2,375	2,494	+119	+5.0%
不 動 産 関 連	712	730	+17	+2.5%
合 計	10,630	10,971	+341	+3.2%

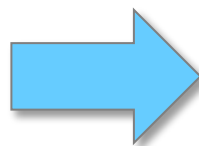
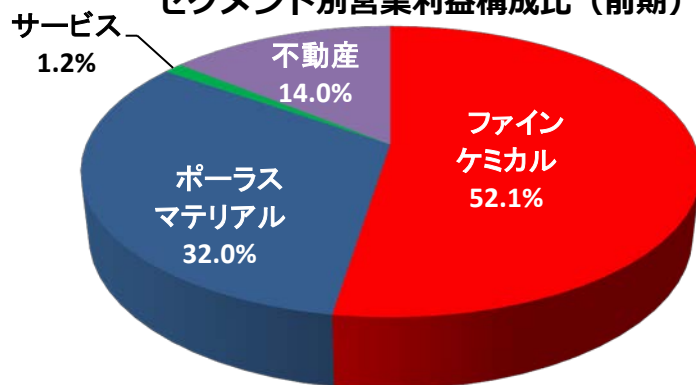


セグメント情報 (セグメント別営業利益比較)

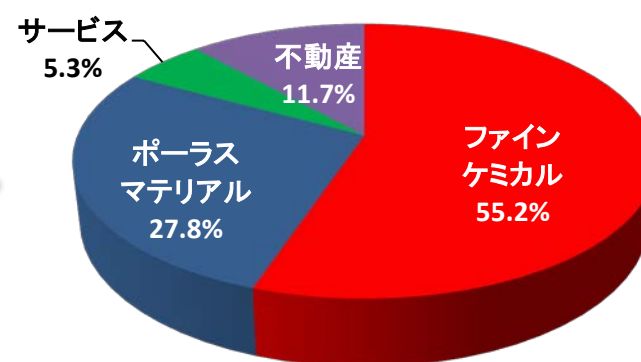
(単位：百万円)

営業利益	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	400	601	+200	+49.9%
ポーラスマテリアル	246	303	+57	+23.4%
サービス	9	58	+49	+544.5%
不動産関連	107	127	+20	+19.2%
合計	769	1,091	+322	+41.9%

セグメント別営業利益構成比 (前期)



セグメント別営業利益構成比 (当期)



連結業績 (損益：対前年同期比較)



(単位：百万円)

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	10,630	10,971	+341	+3.2%
売上総利益	3,678	3,955	+277	+7.5%
売上総利益率	(34.6%)	(36.1%)	(+1.5%)	-
販売費及び一般管理費	2,908	2,863	▲45	▲1.5%
営業利益	769	1,091	+322	+41.9%
営業利益率	(7.2%)	(10.0%)	(+2.8%)	-
経常利益	868	1,200	+332	+38.2%
税金等調整前四半期純利益	789	1,453	+664	+84.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	468	954	+486	+103.8%
1株当たり四半期純利益(円)	21.58	43.83	+22.25	+103.1%

要約連結キャッシュフロー（対前年同期比較）



（単位：百万円）

	2015年3月期 2Qまで累計	2016年3月期 2Qまで累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	1,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	340	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△225	20
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	753	1,052
現金及び現金同等物の期首残高	10,835	12,063
現金及び現金同等物の期末残高	11,588	13,115
減価償却費	360	331
設備投資額（※）	172	164

（※）有形固定資産の取得による支出

連結ハイライト指標 (対前年同期比較)



(単位：百万円)

	2015年3月期 2Q	2016年3月期 2Q	増減
総資産	46,811	48,777	+1,966
純資産	41,589	42,163	+574
自己資本比率 (%)	88.8%	86.4%	△2.4%
ROA (経常利益/総資産) ※	1.9%	2.4%	+0.5%
ROE (純利益/純資産) ※	1.1%	2.2%	+1.1%
1株当たり純利益 (円) ※	21.58	43.83	+22.25
1株当たり中間配当 (円)	8.00	8.50	+0.50
配当性向	37.1%	19.4%	△17.7%

(※) 利益はいずれも第2四半期連結会計期間。

要約連結貸借対照表 (対前期末比較)

(単位：百万円)

	15年3月末	15年9月末	増減額		15年3月末	15年9月末	増減額
流動資産	19,331	20,352	+1,021	流動負債	2,905	2,968	+63
現金及び預金	12,494	13,555	+1,061	買入債務	996	1,023	+27
売上債権	3,165	3,274	+109	未払法人税等	339	525	+186
有価証券	899	699	▲200	未払金・未払費用	1,006	967	▲39
棚卸資産	2,253	2,286	+33	その他	562	452	▲110
その他	520	536	+16	固定負債	3,523	3,645	+122
固定資産	28,736	28,424	▲312	負債合計	6,428	6,613	+185
有形固定資産	21,917	21,789	▲129	純資産	41,639	42,163	+524
無形固定資産	132	115	▲17	株主資本	41,006	41,814	+808
投資その他の資産	6,685	6,519	▲167	その他包括利益累計額	633	348	▲285
資産合計	48,068	48,777	▲709	負債純資産合計	48,068	48,777	+709

Ⅲ：経営目標

中期経営計画概要① 経営方針

中期経営計画“SOFT99-Drive”の概要

■期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日（3カ年）

■経営理念：「**生活文化創造企業**」

当社グループが創業以来掲げてきた不変・普遍の理念

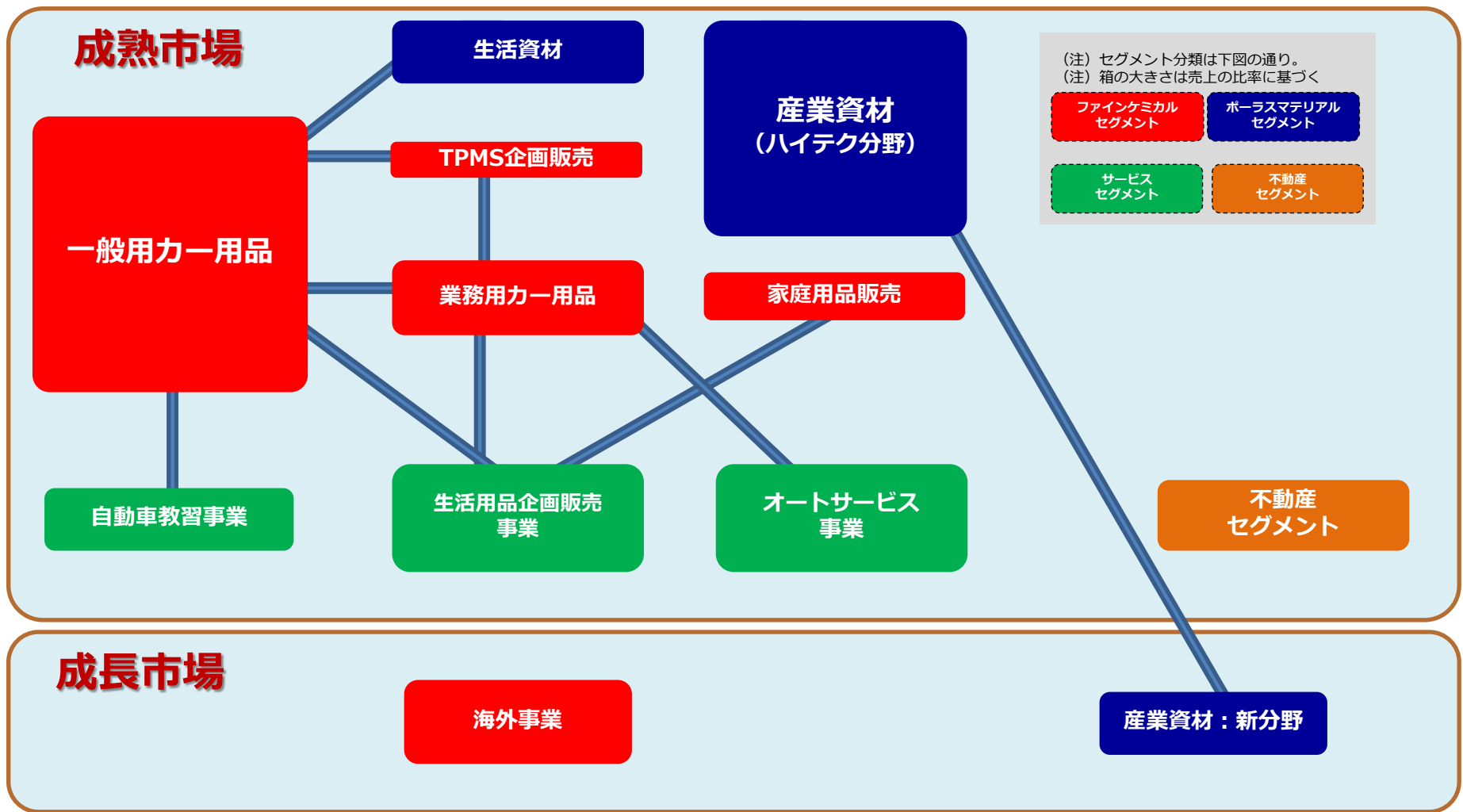
■経営ビジョン：「**未来の“あたりまえ”を発見する**」

- 『あたりまえ』とは…一過性のブームに終わらないお客様に長く愛される製品・サービス
- 『発見』とは
 - 発明＝ハイテク製品ではなく、日常生活からお客様に支持される製品・サービスを見つけ出すこと。
 - 顧客の目線を常に意識し、創意工夫をもっていつのまにか『あたりまえ』となるような製品・サービスを創出し続けることで事業の拡大を目指す。

■基本方針：成熟・成長市場においてバランスよく取組みを進める。

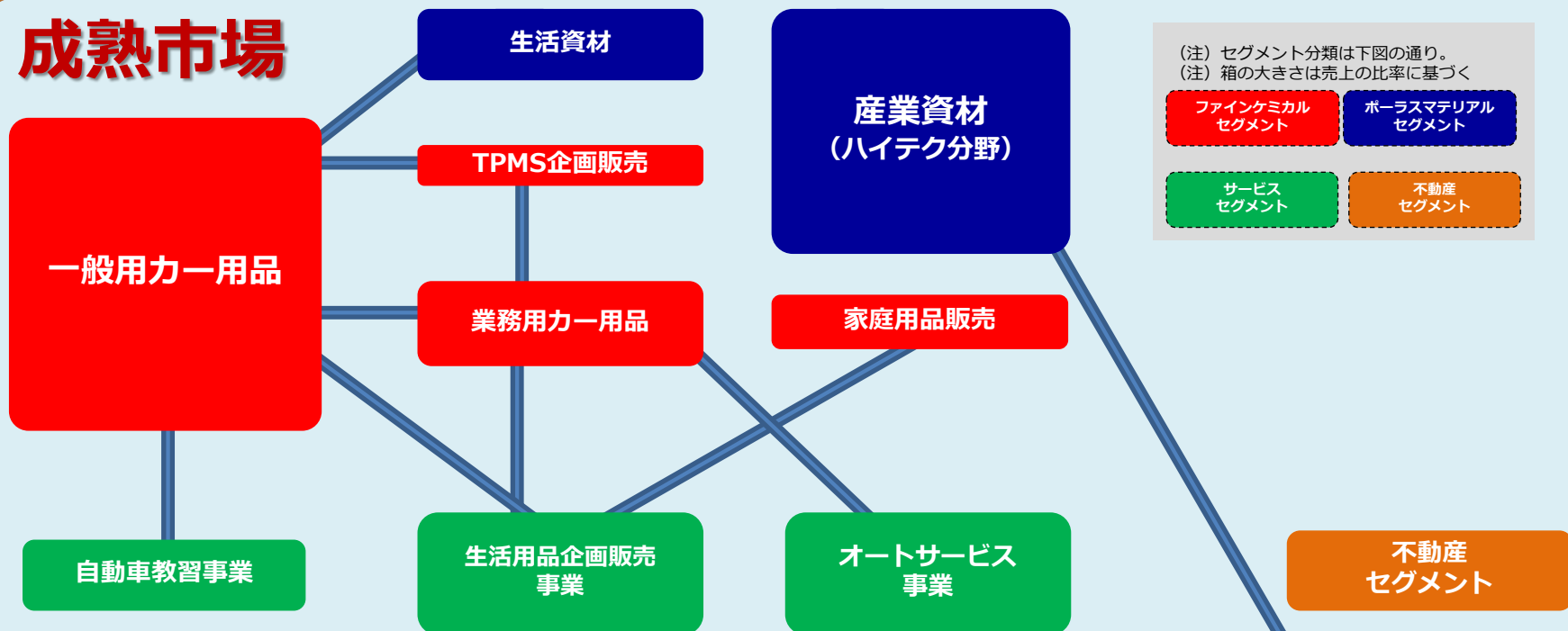
- 成熟市場……顧客志向を常に意識し、高付加価値製品、サービスを提供する。
- 成長市場……積極的に参入し、事業の拡大を図る
- 未来の『あたりまえ』を発見するため技術・ノウハウ蓄積と新用途開発を推進する。
- 社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す。

中期経営計画概要② 各セグメントの補完関係



中期計画の折り返し報告① 成熟市場(1/3)

成熟市場



成長市場

海外事業

産業資材：新分野

中期計画の折り返し報告① 成熟市場(2/3)



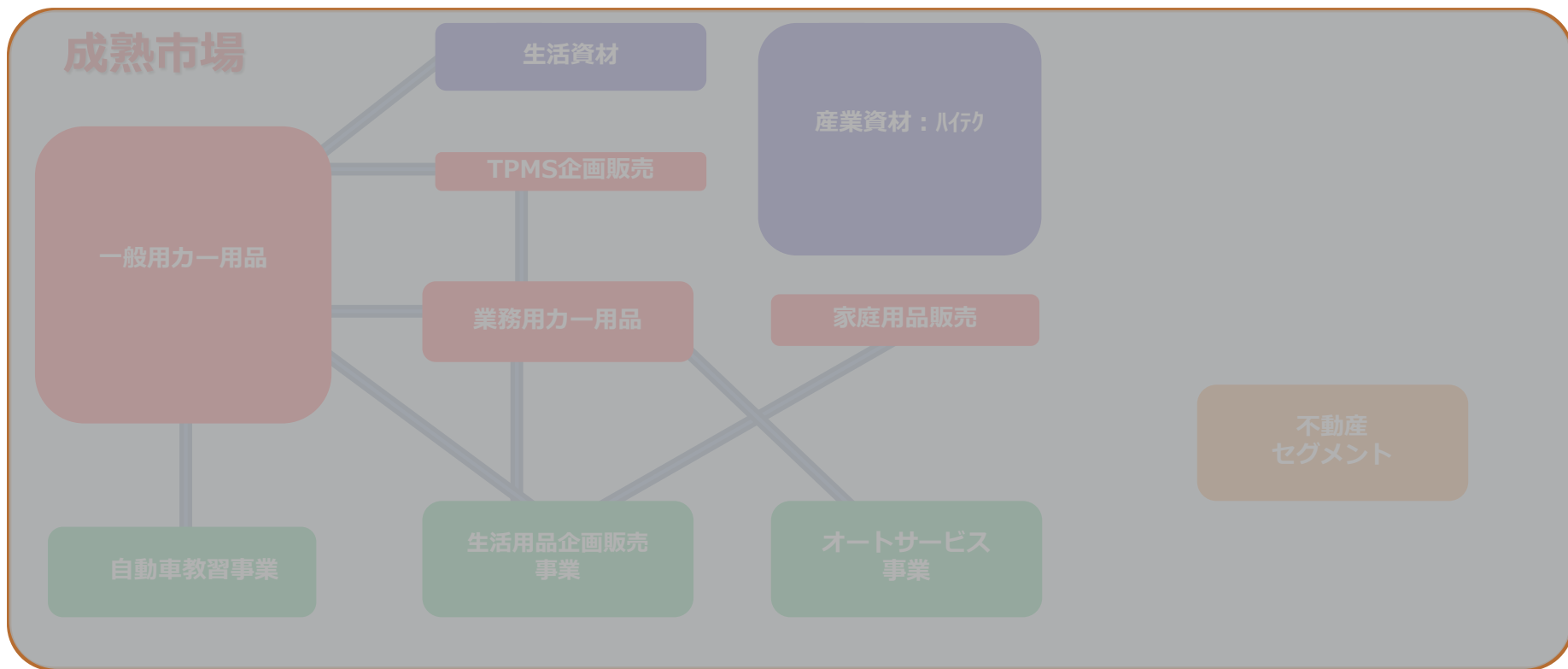
セグメント (サブセグメント)	施策	成果	課題	中期計画達成に向けての ステップ
ファインケミカル (一般カー用品)	スムーズエッグマイクロホイップのような新しい切り口の製品 投入を継続し、新市場を創出。		スムーズエッグマイクロホイップの販売は伸び悩む。 ➢ 引き続き認知度向上の施策を取り、本製品を育てる取組みを行う。	<p>新しい市場に切り込む製品の開発</p> <p>更なるモノ創りの強化！</p>
	車内アメニティの充実 (芳香・消臭剤新製品投入、女性向けアイテム販売)		芳香・消臭については新製品投入は行っているものの道半ば。女性向けアイテムにおいても競合乱立など環境悪化	
	ガラコ新製品投入による収益基盤確立	ガラコワイパー新製品の投入、ガラコシリーズ新製品投入		
ファインケミカル (業務用)	カーディーラー向け販売の強化	ディーラー向け販売の伸長 O E M販売の伸長 自販機における展開拡大。	コーティング周辺サービスにおける新たなメニュー開発 自動車以外の新用途開発	<p>自動車以外の新用途開発とコーティング周辺サービスにおける新たなメニュー開発を推進する。</p>
	フレームボンドの活用	印刷業界向けに採用となる。		
ファインケミカル (家庭用品)	メガネケアにおける新しい市場の確立	店頭での露出強化、定番採用拡大により露出度向上。 またメガネの曇り止め商材も販売が拡大し、市場を確立する一定の成果となる。		引き続きメガネケア市場を強固にするための製品開発や営業活動を強化

中期計画の折り返し報告① 成熟市場(3/3)



セグメント (サブセグメント)	施策	成果	課題	中期計画達成に向けての ステップ
ポーラスマテリアル (生活資材)	ファイケミカルとの製品 開発ノウハウ相互活用による 新製品の継続的投入	<p>ファイケミカルが持つ 営業ノウハウを活かし 販売を拡大</p> <p>製品も同様にファイケミカル の開発ノウハウを組み合わせて 新製品を継続的に投入</p>		<p>営業ノウハウを活かした 更なる得意先への営業強化</p> <p>新製品の継続的投入</p>
サービスセグメント (オートサービス)	保険料率改定による市場 縮小を補う新しい美装メ ニューの開発		プロテクションフィルム ラッピングフィルムなどを 展開しているものの、整備 钣金の落ち込みを補うまで には至っていない	<p>施工サービスの拡大。</p> <p>施工ノウハウ講習の事業化。</p>
サービスセグメント (生活用品企画販売)	ソフト99グループにお けるインターネット販売 におけるノウハウの集約	<p>自社インターネット販売 サイト『ココ笑店』に おける販売拡大 →ノウハウの集積</p>		もう一段階上に事業ステージ を引き上げるため、販売方法 見直しなど、新たな施策を 実行する。

中期計画の折り返し報告② 成長市場(1/2)



中期計画の折り返し報告② 成長市場(2/2)



セグメント (サブセグメント)	施策	成果	課題	中期計画達成に向けての ステップ
ファインケミカル (海外販売)	現地専用品の開発	現地語パッケージの投入 韓国・ロシア・タイ・インド ネシアなど		現地マーケットのニーズを 反映した製品の開発を更に 加速させる。
	新規エリア開拓	商環境の変化から優先順位 を切り替え仕向先をヨー ロッパエリアへ変更、英国 への洗車用品をはじめドイ ツ、ポーランドにG'ZOX 導入		優先順位を切り替えた中で 更なる仕向先の拡大
ポーラスマテリアル (新分野)	新用途推進による 新たな顧客層開拓	インフルエンザ検査キット の採用で液体吸収という 用途が拡大。		医療分野への採用活動拡大 医療用途に代わる新たな用途の 開発

中期計画の折り返し報告③ 新規事業

- 既存事業ベースでの事業拡大と合わせて、新規事業における事業拡大を図る。
 - 今後もM & Aも視野に入れた新規事業の創出、事業拡大を継続。

セグメント (サブセグメント)	成果	課題
ファインケミカル (TPMS企画販売)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内の運輸運送会社を対象に、トラック・バス向けTPMS製品の販売が拡大 ➢ 海外向け新都市交通用TPMSの受注 <ul style="list-style-type: none"> ✓ アメリカ ✓ マカオ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 乗用車向けTPMSの販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ファインケミカル得意先網を活用した展開 ✓ 自動車メーカー純正TPMSのセンサー交換需要への対応 ➢ トラックバス向け販売 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内トラック・バス向けOEM販売の推進 ✓ 新規開拓

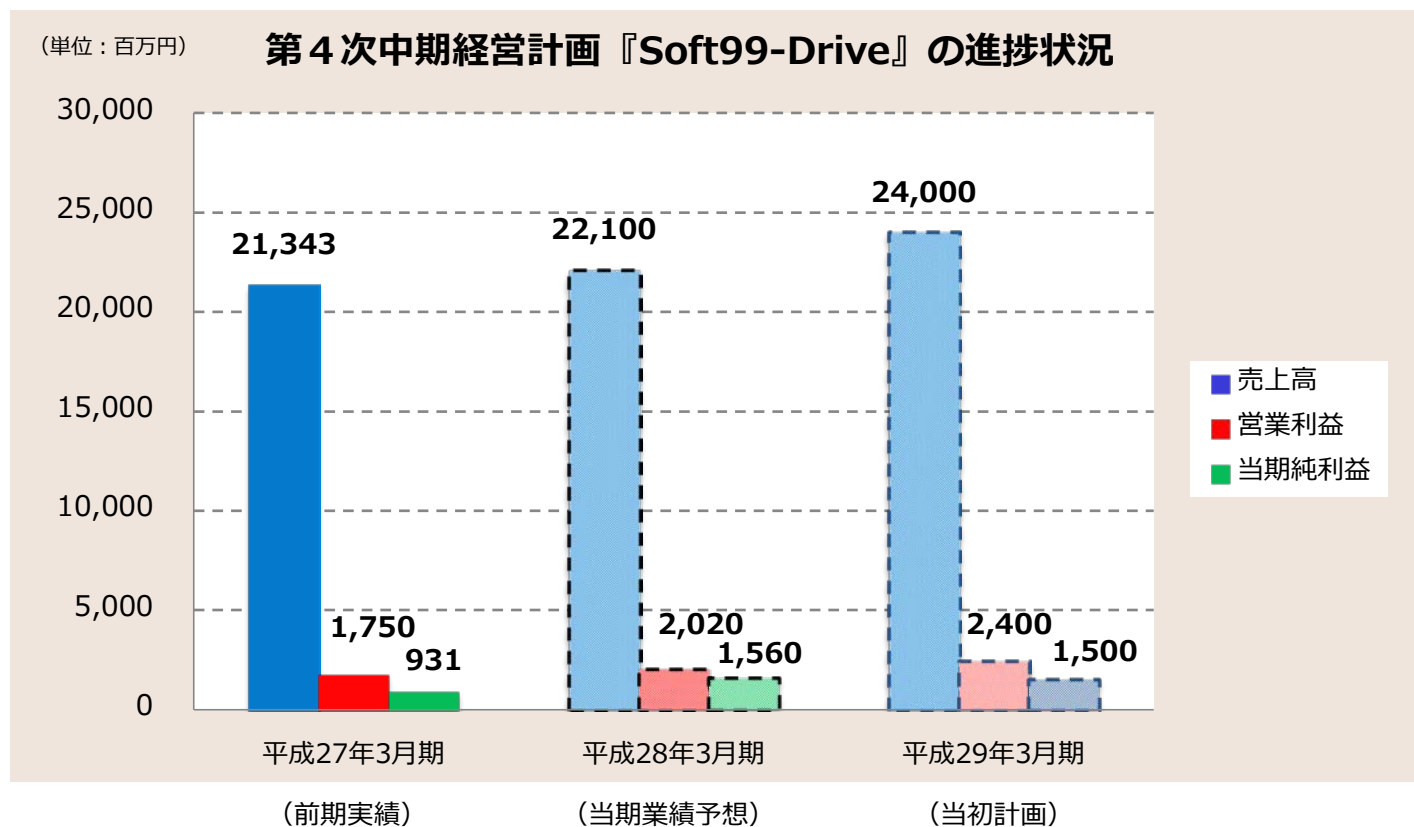
※ TPMS (Tire Pressure Monitoring System : タイヤ空気圧監視装置) とは

- ✓ タイヤの内部に送信機を内蔵したセンサーを設置し、データを無線で運転席のコントロールユニットへ送ることで、走行中でもタイヤ空気圧と温度を常時モニタリングすることが可能となります。
- ✓ 2018年の新車への装着本格化に合わせて、ファインケミカルとのシナジーが発揮できることを想定しております。

今期業績予想と中期経営計画の進捗

■ 平成28年3月期連結業績予想

- 去る2015年10月26日に上半期の好調を受けて上方修正を公表。
- 売上高22,100百万円、営業利益2,020百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,560百万円
- 当期業績予想における当期純利益の大幅な増加は、主に有価証券の売却益によるもの。



ステークホルダーとの関係構築

- コーポレート・ガバナンス・コードに基づく当社ガバナンスの指針として、本年7月9日に『ソフト99・コーポレート・ガバナンス・ポリシー』を公表いたしました。
- 本ポリシーにおいては様々なステークホルダーとの適切な協働関係構築を目指した経営を行う事をテーマの一つとして掲げております。
- 本ポリシーおよび中期経営計画に基づく株主還元方針として、配当性向については連結当期純利益の25%以上を目安とし、これに機動的な自己株式買付を加えることで総還元性向30%を目指します。
 - 業績予想の上方修正および自己株買付を発表済み。

	2016年3月期2Q (実績)	2016年3月期 (最新予想)	進捗
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益 (百万円)	954	1,560	61.1%
1株あたり 当期 (四半期) 純利益 (円)	43.83	71.87	60.9%
1株あたり 年間 (中間) 配当金 (円)	8.50	17.50	51.5%
配当性向 (%) 連結ベース	19.4%	24.3%	-
年間 (中間) 配当額 (百万円)	187	385	-
純資産配当率 (%)	0.4%	0.9%	-

長時間に亘り、
ご清聴ありがとうございました